

各 位

会 社 名 株式会社アルファクス・フード・システム
 代 表 者 名 代表取締役社長 田 村 隆 盛
 (コード番号：3814 東証 J A S D A Q)
 電 話 番 号 0 3 - 5 6 4 9 - 2 1 0 0
 U R L <http://www.afs.co.jp/>

「FOOD αシリーズ」 POS システム用マルチ決済システム「α-PAY」新発売 「α-PAY」システム販売のお知らせ

株式会社アルファクス・フード・システム（本社：山口県山陽小野田市、代表取締役社長 田村隆盛）は、当社飲食店向け POS システム「FOOD α 5000」「FOOD α 6000」に搭載可能な POS レジマルチ決済システム「α-PAY（アルファペイ）」の発売を7月上旬より開始いたします。

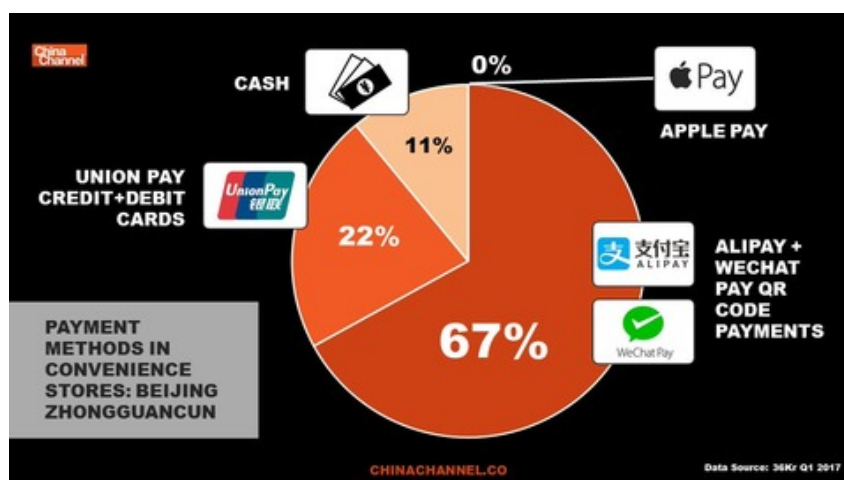
1. 「マルチ決済システム」発売の背景

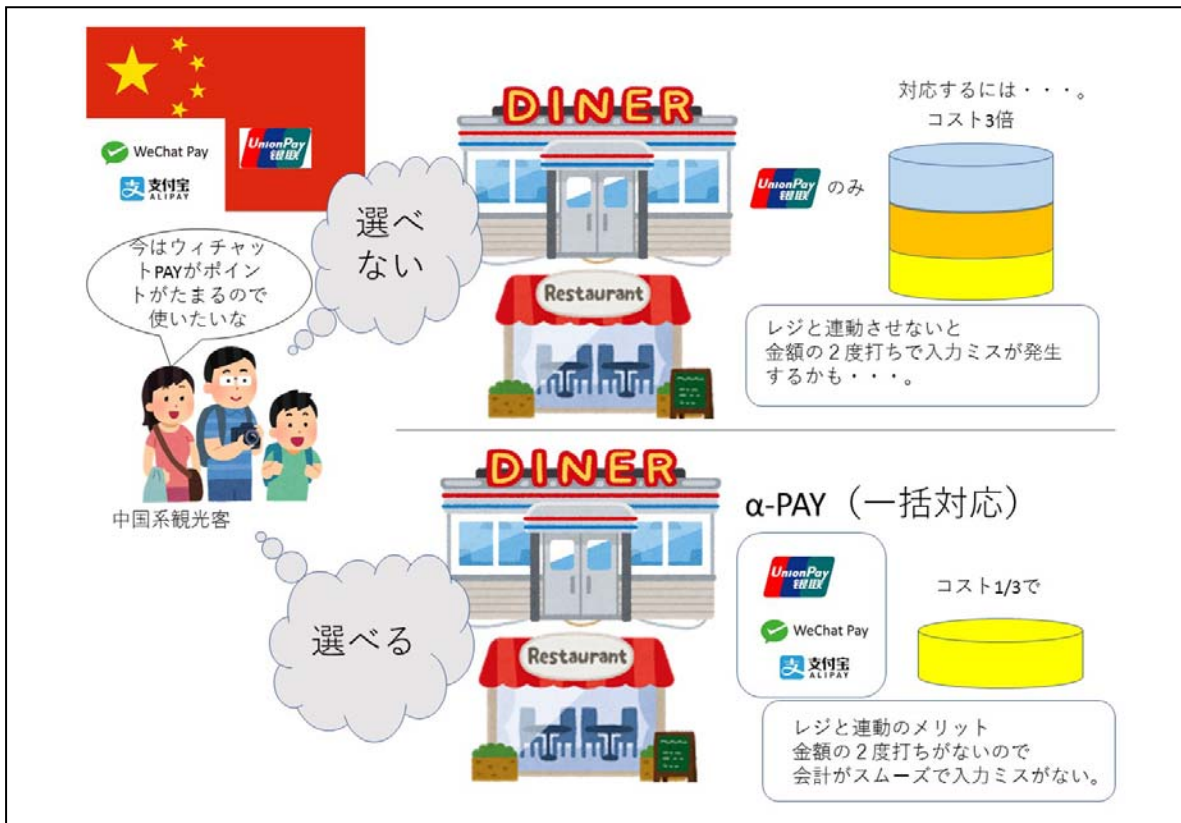
当社は、「食文化の発展に情報システムで貢献する」ことを事業ポリシーとして、外食業界に特化した基幹業務システムの ASP による提供から、あらゆる業態に対応できるパッケージ型の総合基幹業務システムである「飲食店経営管理システム(R)」の販売、飲食店店舗にて利用する POS システム、オーダーエントリーシステム(当社製品名：オーダーショット)の自社企画のシステム機器の開発・販売及び周辺サービスの提供までをワンストップで行っております。飲食店の POS システム市場は、スマートフォンやクラウド等を活用したフィンテック革命（ファイナンス（Finance、金融）」と「テクノロジー（Technology、技術）」の2つの言葉を掛け合わせて作られた造語）により、決済サービスの多様化が求められています。多種多様な決済サービスを POS システム内で実現するためには、それぞれの決済システムモジュールを POS システム内に搭載する必要性があり、膨大な開発コストが必要になります。

当社は、この多種多様な決済サービスを低コストで集約可能な POS システム用マルチ決済システムとして、「α-PAY」をリリースいたします。

2. まずは、中国系決済のマルチ化から

現在、日本国内の決済システムは、専用の端末機器を用いながらも POS システムとの連動はなされている感がありますが、中国系の決済システムに関しては主要スマホ決済システム（ギンレン・ウィチャットペイ・アリペイが主要であり、主要3社の利用率89%）3社を集約して対応できる POS システムはなく、主要決済システムのどれか1つを選定して対応するか、タブレット端末を活用しながら運用する方法しかありませんでした。1つを選定する方法は、利用者を選ぶ自由を与えませんし、タブレット端末の活用は、POS システムで算出した金額をタブレット端末に打ちかえ決済するもので、入力ミスや決済ミスの戻し処理が大変複雑になり、従業員のストレスになっています。「α-PAY」は、株式会社 NIPPON PAY の中国系集約決済モジュールの提供を受け、POS システムと中国系の主要決済を連動して行うことで、決済運用をよりスムーズに処理することが可能になります。





3. 多様化する「α-PAY」

当社は、昨年業務提携した LINE Pay の決済システムに加え、今回の中国系決済システムに対応することで、これからも新たな企業参入の可能性があり、変革が予想される外食店舗の POS システム決済に、“POS システム連動（2度打ち入力ミスを無くす）”で対応していくと共に、今後一部の飲食店で確実な実施が予想される、お客様用オーダー端末を活用したスマホ決済での“テーブル会計”にも対応できるようにシステム開発を進めてまいります。

製品名	マルチ決済システム「α-PAY」
販売価格	オープン価格
発売時期	7月上旬

※このリリースに記載の内容は、発表当時の情報です。予告なく変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。記載されている商品名、会社名は、各社の商標または登録商標です。

以上